今こそ:バイ・パナソニック みんなでエコライフ



パナソニック 松愛会 横浜東支部 横浜西支部

成数形成功



横浜支部設立30周年記念号 URL: http://www.shoai.ne.jp/yokohama/

発行人 中川洋一 編集人 続 薫



松愛会会長 山下 美明

横浜カラーの発揮に期待して

横浜東・西支部の皆様、支部設立30周年の節目を迎えられ心よりお祝い申し上げます。本年は松愛会も設立40周年を迎え、共に喜びあえることを嬉しく思っています。松愛会は昭和47年279人で事業所単位の組織が発足、3年後会員数400人超を機に居住地区別に編成替え、平成18年から横浜地区は東・西二つの支部体制になり、現在会員数は2千人超と全会員数の約1割を占め、

リーダー的支部として活躍して貰っています。特に、支部活動は非常に活発で、例えば佐江戸地区緑化運動をはじめとした社会貢献活動やパソコン教室の普及活動でIT化やペーパーレス化をいち早く採り入れるなど文化教養面でも常に前向きで多彩な活動は他支部の模範となっており感謝しております。実は、私は横浜で青春時代を送り、もし通工に配属になっていたら、今頃は私も貴支部の会員になっていたのになあと親近感を感じています。ただ、会社の変革に伴い、多くのOBの出身母体である横浜地区の会社ドメイン組織が大きく変更する中、支部はOBの精神的支柱としての役割が益々重要になって来ています。どうか、モダンでハイセンスな横浜カラーを発揮して明るく元気の出る"まるごと爽健"活動で、一人でも多くの会員に喜ばれ役立つよう一層磨きをかけて頂きたいと期待しています。30年の長い間、伝統の灯を守り続けてきた歴代の世話役の皆様に感謝を表すと共に、今後とも皆様の強い想いで40年、50年を立派に迎えられるよう更なるご発展をお祈りし祝詞といたします。



松愛会副会長 和田守政

おかげさまで30周年!皆様のご支援に感謝!

横浜支部は今年11月で30周年を迎えます。この間、先輩の方々の懸命なご 尽力により、また会社、労働組合、健康保険組合など関係部門の方々のご支援 をいただき、今日では2000名を超える大きな組織に成長してまいりました。 改めて関係の方々に御礼を申し上げますとともに会員の皆さま共々祝い 合いたいと思います。

多様な活動が展開されています!

設立当初は会員相互の親睦活動が中心でしたが最近では多種多様な活動「親睦」「友愛」「貢献」と幅が広がり、地域への繋がりも強めています。また、多くのクラブ活動で会員相互の親睦を深めています。

伝統を継承して今後の活動に期待!

今後とも横浜支部の良き伝統を継承し、次の活動を推進し会員の豊かな暮らしを築いて行くことを期待しています。

- ①全会員が"爽やかで意義ある人生"実現の基礎となる"健康づくり"活動の推進
- ②親身に思いやる「友愛」、楽しい「親睦」、地域社会へ「貢献」活動の推進
- 会員の皆さまにおかれましては多くの支部活動に参加され、今まで以上のご支援、ご協力を お願い申し上げます。

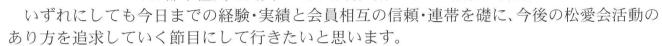
横浜東支部 支部長 中川 洋一

歴史の節目にあたり

横浜東支部・西支部会員の皆様、日頃は松愛会活動にご参加・ご協力頂き ありがとうございます。

今年は横浜地域として活動を始めてから30周年を迎えます。この間歴代 の役員・委員の活動を始め、会員皆様のご協力とご参加のお陰で支部活動が 順調に推進され、規模・活動内容とも全国の支部の中でも有数の支部として 活動しています。

反面課題も山積しています。松愛会発足当初から近年までは、60歳満期で 定年退職すると同時に松愛会会員になり、帰属意識も参加意識も旺盛な 会員がほとんどでした。しかし最近では雇用形態の変化に伴い退職時の入会 者の意識も多様化し、同時に構成会員の年齢層の三層化(年長層・中高年層・ 就労若年層)の顕在化が進んでいます。今後の課題は、こうした意識の多様化 に対応した活動の推進が求められて行きます。また地域的には、神奈川県の 政令指定都市3市(横浜市・川崎市・相模原市)プラス東京都の一部を包含 した、都市住民を会員とした地域組織としての運営が課題になってきます。



松愛会に対する今後益々の積極的なご参加とご協力を切にお願いする次第です。



横浜西支部 支部長 奈良坂 優

松岡 正

支部の発展に尽くした8年

私が幹事・支部長として在任中に手がけ苦労したことの中で印象深いも のとしては、まず故坂井仁一郎さんの後任として平成7年5月幹事に就任し、 故八木昌男幹事と共に横浜地区の運営を任されたが、その後一年を経過し ないうちに八木さんが発病され帰らぬ人となられ、5月の年次地区総会を控 えて何をどう準備すべきか皆目分からず、葬儀後八木さん宅に伺い、保管中

のファイルを参考に見様見真似で準備して平成8年5月何とか無事に総会を開いたことや、 その後、本部事務局の来訪を受けた際、横浜地区の運営、会員参加の活動が大阪地区より見劣 りしているとのご指摘を受け、悔しい思いで一念発起しまず同好会活動を増やすべく会員に アンケートし、苦労をして世話役を見つけて順次会を開設していったこと。

かねて懸案であった地区再編成を行い、地区を北・南・西と三地区に分割したが、その運営 を横浜方式として独自に「三地区合同」の行事と「各地区個別」による活動の二本立ての運営 とする改革を行ったこと。

次に、二つあった総会を年一回の総会とする提案を行い春は「新春懇親会」として賀詞交換 の内容とし、同時に関東地区(東京・横浜・湘南)の会員は懇親会には所属地区を越えて自由に どの会場にも出席できることに改めたこと。

また本部政策委員として年会費制導入をテーマに取り組み、年一千円の会費を頂くことを 定め、松愛会の財政基盤を確かにし、大任を果たすことができたことなどである。 任期6年のところ2年延長し極めて多忙な8年であった。

役員の任期は期間限定ではあるが、この期間は腹を決めて会員の方々の健康と幸せを願 い、会社への恩返しと思って人生の貴重なひと時を捧げる心意気でお取り組み頂くこと、 また会員が松愛会活動に積極的に参加されることを願っています。



石原 健夫

支部設立30周年に寄せて

現役時代に、当時松愛会の役員をされていた元社長室の故八木室長(松下電器バレーボール部OB)から役員になって会員の世話をして欲しいと説得をされていました。平成7年に不幸にも、八木さんは病気で亡くなられ、後任に松岡さん(神戸商大入学時のバレーボール部キャプテン)が支部長を引き継がれると同時に、私に協力要請が有り引き受けました。

平成10年に全国総会の承認を受け幹事に任命され、その後、横浜地区の会員数が増大し、北・南・西の三地区の分割に至り、さらに地区名が支部名に改称され、北支部長として、益々責任の有る大役を担う事になりました。役員の仕事は想像以上に手間が掛かり、大変な事も有りましたが会社・組合のご支援を頂き、多くの会員の皆様と親しく交流させて頂き大変有意義な経験をさせてもらい喜んでおります。

平成13年、北支部長の時から後任を模索しておりましたが人事職能で顔が広く面倒見の良い渡辺忠亮氏が適任と考えて、お願いをしたところ、ご理解とご了承を得て就任を頂きました。想い出の一つに平成9年、同好会活動の先駆けとし「横浜囲碁クラブ」を立ち上げ、小比賀さんと世話役を担い27名の入会が有った事です。

役員の皆様は、大変ご苦労が多く多忙で有りますが、会員様との人間関係を深め、相互信頼を高め、特に、松愛会の行事には積極的に参加を頂ける様に働き掛けを強めて頂きたいと思っています。



渡辺 忠亮

松愛会30周年に寄せて

今3月期の経常損益が7,800億円と過去最大の赤字と報道され、大変憂慮しています。社名がパナソニックと変わった今でも、当然のことながら、OBとして、会社の動向は非常に気になります。

私と松愛会との関わりは2000年からです。当初、非常勤ながら、仕事を持っていましたので、「地区委員を1年間」ならばと、いとも気軽に引き受けた

のが運のつき、その後、引き続き支部長を三期6年都合7年になるとは思ってもみませんでした。その間、会員数は全横浜支部で840名から今や2,000名と拡大しています。

私は、支部長として、現役のころとは異質の経験もし、厳しい思いもしましたが、会社の全面的なご支援ご協力のもと、多数の先輩や後輩会員のために、少しはお役に立ったのではないかと自負しています。多くの人とのつながり、人脈ができたことは大きな収穫でした。

後輩会員の方がたに申しあげたい。

第2のお仕事を卒業された松愛会員の方がたには、60歳代後半からでも遅くはないので、 ぜひ、松愛会の活動に関心を持ち、今後は積極的に活動に参画し、ヤングパワーと時間を提供 して頂きたいのです。

グランドシニア懇談会・新春懇親会・年次支部総会の風景



グランドシニア懇談会



新春懇親会



年次支部総会

准藤 良田

いと思った。

6年間の支部役員をふり返って

地区委員は、ふたつ返事で了承

2002年1月頃松岡支部長、和田支部長から地区委員の話があり頼まれると「イヤ」と言えない性格もありふたつ返事で受けた。

地区委員の中で私が一番若く、先輩から教えてもらいながらの活動でした。世話役活動の中で「ゴクロウサン」と言われるのが嬉しく、4年はやっても良

支部長就任は固辞したが最終は了承、背中で引っ張った5年間

次期支部長の話があった時は、徹底して固辞した。固辞の理由は二つあった。一つは松岡さんを身近に見ていて、支部長の仕事が生活の中心に感じられたこと。もう一つは、役員の中で一番若く経験も知識も無い者が、それらのある諸先輩のリーダーは無理と思ったことであった。このような経過があったが、OKしたのは松岡さんが体調を崩されたことであった。

支部長就任当時、横浜は南・北・西の3支部体制の中で会員急増やPC導入・社会貢献など活動が様変わりしつつあった。その中で戦略は和田支部長、渡辺支部長にお任せし、私はとにかく体を動かし汗を流しての率先垂範でやろうと決めた。2006年には、横浜東・西の2支部体制となり私の担当地域も増えたが常に背中で引っ張ることを心掛けた。

支部長の喜びは会員の行事への参加と帰りに「アリガトウ」と握手される時であり、地区委員に対しては行事が終わったあとの「ホッ」とした顔を見ることである。支部長の仕事はハードであり後任者に頼みづらくもあったが、和田さんに快諾していただき2008年4月に退任した。

年	会員数	歴代支部長(幹事)		あ ゆ み
1972			松愛会設立	- 設立総会(279人)/「松愛会だより」第1号発行
?	N.	(太田 納 関東地区幹事)	>	労働組合、会社の全面支援により本格的活動を開始
1982	97	中川 進	支部設立	関東地区より横浜地区に独立
1987	182	坂井 仁一郎/岡本 他久児	5周年	1
1992	247	坂井 仁一郎/八木 昌雄	10周年	各種 同好会活動 スタート
1997	558	松岡 正/提橋 正治	15周年	はまだより 創刊
1998		松岡 正/提橋 正治/石原 健夫		新会員懇談会/社会見学会スタート
}				地区再編成(北・南・西の3地区制)/クラブ作品展示会実施
		2		新春観劇会/納涼寄席スタート
				社会貢献活動スタート(氷取沢森林・鶴見川植生保全活動)
2001		松岡 正/和田 守政/渡辺 忠亮		- 地区名を支部名に改称/横浜支部ホームページ開設
				支部総会を年1回とし、年次総会と新春懇親会をスタート
2002	1,019		20周年	クラブ世話役懇談会/高齢者懇談会/友愛訪問スタート
2003		和田 守政/渡辺 忠亮/進藤 良明		年会費制実施/菊名地区センター [パソコン教室]スタート
2006		渡辺 忠亮/進藤 良明		横浜北・南・西を横浜東・西支部に組織、名称変更
2007	1,587	進藤 良明/西田 富夫	25周年	地球温暖化防止活動 エコライフ決算書スタート
2009		和田 勝/中川 洋一		大支部年次総会中止(新型インフルエンザ流行の為)
2011		中川 洋一/奈良坂 優		東日本大震災 義捐金募金
				横浜支部ホームページ アクセス数10万件達成
2012	2,053		30周年	はまだより80号発刊(2012年1月号)
				- はまだより記念号発刊(2012年5月)
				・ 社会貢献賞(グループ社長賞) 受賞